

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービスNest

## 支援プログラム(参考様式)

作成日

R7

年

5月

1日

法人(事業所)理念		脳性まひ児やその家族が健やかに歩める共生社会を目指す										
支援方針		肢体不自由児をはじめとする体の使い方に課題のある児童、および発達障がい等による協調性運動障害等への機能訓練職員によるリハビリ的アプローチ 感覚統合を得意とする療育プログラムを実施し、発達の土台づくりに取り組む SSTや学習支援、自立支援を促す療育プログラムの組み立てをおこなう										
営業時間		9時		30分から		18時		30分まで		送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	年齢や体力に応じた生活リズムを提案し、身体的・精神的な健康状態の維持や向上に取り組めます。 日々個別に体調の確認をおこない、健康状態を把握します。同時に健康状態を自身で把握できるように促します。 個々の特性に合わせて基本的な生活スキルの習得を目指し、自立を促していきます。										
	運動・感覚	機能訓練職員による専門的アプローチをメインに、感覚統合療法による発達の基礎を育みます。 また、筋力トレーニングやストレッチ等の身体的アプローチを実施し、姿勢保持や改善、日常生活動作の維持・向上に取り組めます。										
	認知・行動	文字や図形の認識・空間の認知、時間や日時などの概念など、日常生活に必要な事象についての知識の習得と理解の増進を目指します。 場面にあった考え方や行動の習得を目指し、例示をしめしたり、一緒におこなったりして身につけていきます。										
	言語 コミュニケーション	言葉の理解や場面に合った言動について知るための療育プログラムを実施し、コミュニケーションの基礎を育みます。 非言語コミュニケーションとして、表情理解・身体表現・視覚支援などを活用し、伝える手段の幅を広げていきます。										
	人間関係 社会性	自己選択・自己決定を基本とし、自己理解を深めます。 感情理解や場面に合った言動などを知る機会としてSSTやグループワークを活用します。 仲間と協力する、チームで楽しむなどの協調性を育む療育遊びを提供します。										
家族支援		保護者とのこまめな連絡調整や談話の機会の設置 家族イベントや保護者間交流の機会の提供					移行支援		相談支援員との連携および各種学校等との関係づくり 行政からの情報収集			
地域支援・地域連携		各種学校関係、相談支援員、他機関の機能訓練職との連携 リハビリ体験実施機関との連携と見学や体験 居場所提供による地域住民との交流					職員の質の向上		定期的な社内研修の実施 キャリアアップ・スキルアップのための資格取得や研修受講			
主な行事等		夏祭りやクリスマス会などの季節イベント、遠足、参観日(家族デー)										